

令和元年度

# 川崎市立中学校 学習状況調査 報告書

川崎市教育委員会・川崎市立中学校長会

## はじめに

川崎市教育委員会  
教育長 小田嶋 満

市立中学校では、昨年度から新学習指導要領への移行措置が実施されており、各学校におかれましては、令和3年度の全面実施に向けて、教育活動の質の向上のために全教職員でカリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組を推進していただいていることと存じます。

新学習指導要領前文では、一人ひとりの生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協力しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることへの重要性が指摘されております。

本市では、平成27年度に第2次川崎市教育振興基本計画「かわさき教育プラン」を策定し、基本理念を「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」と定め、「自主・自立」「共生・協働」を基本目標として、社会的自立に必要な能力・態度を培い、個人や社会の多様性を尊重する精神を育むための取組を継続しています。本年度は第2期実施計画の2年目として、教育プラン「基本政策Ⅱ 学ぶ意欲を育て、『生きる力』を伸ばす」の「施策1 確かな学力の育成」では、すべての子どもが「分かる」ことをめざして、一人ひとりの「学び」を大切にした学力向上策を推進しています。川崎市立中学校学習状況調査はその一環として、各学校が生徒一人ひとりの学習状況や実態を正確に把握し、教科及び質問紙の調査結果を活用することを通して、生徒には確かな学力を育成し、教職員には「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進につなげることを主な目的としております。引き続き、本冊子を学校教育目標の実現に向けた取組に生かしていただければ幸いです。

結びに、本調査の運営・実施にあたりご尽力いただきました中学校現職教育委員会をはじめとする中学校長会の皆様に厚くお礼申しあげます。

## 令和元年度「川崎市立中学校学習診断テスト」のまとめにあたって

川崎市立中学校長会  
会長 山田 英児

昨年度から新しい学習指導要領の移行期間に入り、今年度は「特別の教科道徳」が全面実施となりました。各学校においては、社会に開かれた教育課程の理念のもと、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの確立等に努めているところと存じます。

この川崎市立中学校学習診断テストは、昭和43年度から校長会の委託事業として市内の全中学生を対象に始まり、今年度は52回目の実施となります。平成17年度からは、「かわさき教育プラン」に則り「川崎市立中学校学習状況調査」として実施され、2年生については「生活や学習についてのアンケート」を、教科のテストとともに実施するようになりました。

各教科（国語・社会・数学・理科・英語）につきましては、学習指導要領に示されている目標及び内容の「基礎的・基本的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」について学習したものが、いかに生徒に定着しているかを全市一斉に学年ごとの同一の問題によって調査しています。そして、その結果を診断し、今後の学習指導の改善に役立たせるとともに、生徒自らが学習状況や学習課題の把握ができるようにすることを目的としています。このような趣旨に基づき、本報告書では各設問について分析・考察し、今後の授業改善の手立て等についてまとめております。さらに今年度から、各教科統一した形式の「経年観察およびその考察」というページを設けて、同類の出題に対しての正答率の経年変化を分析し、資質・能力の育成のための課題等を明確にしています。

各学校におかれましては、それぞれの生徒の学力や学習についての意識等を的確に把握していただき、教育課程の編成や指導方法の改善を図るとともに、生徒の学習に取り組む態度や家庭での学習の在り方の改善に向けた基礎資料として本報告書を役立てていただければと存じます。

最後になりますが、学習診断テストの実施に際しまして、ご尽力いただきました、川崎市教育委員会、校長会現職教育委員会及び教育研究会の各教科部会、教頭会の皆様に心より感謝申し上げます。

# 目 次

## I 調査の概要

1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の対象	5
4. 調査実施日及び調査対象人数	5
(1) 調査実施日	5
(2) 調査対象人数	5

## II 調査結果の概要

1. 国語	9
誤答分析と学習指導上の考察	12
2. 社会	29
誤答分析と学習指導上の考察	32
3. 数学	49
誤答分析と学習指導上の考察	52
4. 理科	69
誤答分析と学習指導上の考察	72
5. 英語	89
誤答分析と学習指導上の考察	92

## III 生活や学習についてのアンケート

調査の概要	109
調査結果と分析	110
単純集計	110
クロス集計	125
各教科の正答率との相関	133
資料 調査結果集計表	136

## IV 問題用紙・解答用紙・アンケート質問紙

国語	149
社会	182
数学	230
理科	250
英語	300
生活や学習についてのアンケート	334

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

学習指導要領に示されている各教科（国語・社会・数学・理科・英語）の目標および内容の「基礎的・基本的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」について学習したものが、いかに生徒に定着しているかを全市一斉に学年ごとの同一の問題によって調査する。そして、その結果を診断し、今後の学習指導の改善に役立たせる。また、生徒自らが学習状況や学習課題の把握ができるようにする。

## 2. 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

## 3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

## 4. 調査実施日及び調査対象人数

(1) 調査実施日

令和元年11月12日（火）

(2) 調査対象人数

中学校 第1学年	9,974人
中学校 第2学年	9,573人
中学校 第3学年	9,765人



## Ⅱ 調査結果の概要

